

第1次実施計画(H27年度) 進捗状況内訳表 (秋葉区)

※事業数については再掲含む

(上段:数 下段:%)

「目指す区の姿」別推移					
I うるおいとやすらぎのあるまち	達成度	事業数	IV 花のまち・食のまち・育てるまち	達成度	事業数
	計画通り	19 90.5%		計画通り	6 100.0%
	一部達成	2 9.5%		一部達成	0 0.0%
	達成できず	0 0.0%		達成できず	0 0.0%
小計		21	小計		6
II 楽しく元気なまちなかやさしさのあるまち	達成度	事業数	V 生み出し活かすまち	達成度	事業数
	計画通り	66 89.2%		計画通り	17 94.4%
	一部達成	5 6.8%		一部達成	1 5.6%
	達成できず	3 4.1%		達成できず	0 0.0%
小計		74	小計		18
III 歴史と個性を活かすまち	達成度	事業数	計	達成度	事業数
	計画通り	28 93.3%		計画通り	136 91.3%
	一部達成	2 6.7%		一部達成	10 6.7%
	達成できず	0 0.0%		達成できず	3 2.0%
小計		30	小計		149

第2章 秋葉区 区ビジョンまちづくり計画体系図

『秋葉区 区ビジョン基本方針』

『秋葉区 区ビジョンまちづくり計画』

【将来像】

【目指す区のすがた】

【目指す区のすがた実現に向けた取組み】

花と緑に囲まれた笑顔咲きそろうにぎわいのあるまち

うるおいとやすらぎのあるまち

楽しく元気なまちなか
とやさしさのあるまち

歴史と個性を活かすまち

花のまち・食のまち・
育てるまち

生み出し活かすまち

里山の保全と活用

川を活かした親水空間の有効活用

人と自然が調和した美しい景観のまちの保全

田園型環境都市の実現

産学官、地域が連携したまちなか活性化

安心・安全なまちづくり

支え合いによる誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

秋葉区の個性を活かした次世代を育む環境づくり

持続可能な地域公共交通環境の構築

交通網の整備

協働によるまちづくり

歴史ある文化や宝物の積極的な情報発信

個性を活かした交流のあるまちづくり

文化の継承と創造による文化活動の振興

健康で豊かなスポーツ活動の振興

全国屈指の花き・花木の園芸産地の魅力発信

環境にやさしい、安心・安全な農作物の供給

新潟薬科大学、商店街などとの連携

産業の振興

バイオ技術に関する学術・研究の拠点化

新潟薬科大学との連携による健康・自立の確立

秋葉区区ビジョンまちづくり計画の進捗等について

I うるおいとやすらぎのあるまち

◆里山の保全と活用								
No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
1	新津地区森林文化調査事業	新津丘陵の森林・鳥類・昆虫などの生態系や機能調査の成果を発信します。	観察会の開催 (1回/年)	森林文化啓発に関する観察会を実施しました。 (平成28年3月19日)	1	—	新津地区植物分布調査事業 (No.2)と統合	地域課
2	新津地区植物分布調査事業	新津丘陵の植物分布調査を実施します。 【28年度】新津丘陵の植物分布を示す標本の整理作業を進めます。	植物資料室 年報発行	調査を進め、植物資料室年報を発刊しました。 (平成28年3月31日発行)	1	整理作業の実施		地域課
3	学ぼう・育てよう「環境林・保健体養林」事業	にいつ丘陵を市民協働で保全し、環境教育や自然体験活動など、里山の利活用の促進を図ります。	事業参加者 1,200名	朝日の森森林整備や秋葉つる切り隊などに市民から参加いただき、里山の保全に努めました。また、アキハアウトドアスポーツフェスタなど里山を活用したイベントを実施しました。	2	→		産業振興課
4	“木もれ陽の遊歩道”森林環境整備モデル事業	にいつ丘陵における森林面積の90%を占める個人所有林での森林整備(間伐)の取り組みを支援します。	間伐面積 6ha	小口地区にて森林整備(間伐)を5.01ha実施しました。間伐にかかる経費の一部を補助しました。	2	—	27年度で終了	産業振興課
5	秋葉区里山文化未来への種プロジェクト	里山と関連した魅力ある資源を活かした街や、里山の利活用により人を育てることを目標とした、里山の未来を描く計画(里山文化未来の種プロジェクトデザイン)を作成します。	計画中間とりまとめ	里山に関連する団体とワークショップや先進地視察などを行い、里山文化未来への種プロジェクトデザインの中間とりまとめを行いました。	1	里山文化未来の種プロジェクトデザインの完成		産業振興課
6	秋葉公園リニューアル事業	秋葉公園のリニューアルを行い公園利用者の増加と健康増進を推進します。	施設利用についてワークショップの実施	文化、建築的価値を持ち合わせた、現在休館中の「秋葉苑」の利活用について、関係団体の代表者によるワークショップを開催しました。	1	耐震補強基本設計		建設課
7	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会【里山部会】	新潟薬科大学との連携による里山の魅力発信と利活用を図り、関係機関・団体等による協議を進めます。	部会による検討及び事業実施	秋葉区里山文化未来への種プロジェクトで、新潟薬科大学と連携し里山の魅力発信と利活用を図るための協議を行いました。	1	→		産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
新規	里山プレーパーク開催支援事業	子どもたちが思いっきり遊ぶことを通じて成長することを目指すプレーパークを開催し、里山の魅力発信の強化を行います。	—	—	—	プレーパークの運営	28年度新規	産業振興課
◆川を活かした親水空間の有効活用								
8	阿賀野川フェスティバル	「阿賀野川水辺プラザ」の積極的な活用を促進するため、イベントを開催します。	イベントの開催 (1回/年)	阿賀野川水辺プラザにおいて、ステージ、体験コーナー、PRコーナー等それぞれ楽しめるエリアを設け、イベントを開催しました。 (来場者数11,000人)	1	→		建設課
9	新津川環境保全事業	新津川遊歩道周辺の環境整備の一環として、区民等と協働で除草やゴミ拾いなどを行い、環境整備、保全の向上を図ります。	環境保全事業の実施 (1回/年)	新津川沿線のコミ協や各種関係団体と連携し、新津川遊歩道の除草・クリーン作戦を開催しました。(参加者数316人)	1	→		建設課
10	小阿賀野川(左岸)水辺ふるさとラインづくり事業	新潟県が実施する小阿賀野川左岸のサイクリングロードの整備の進捗状況を見極め、河川環境の整備を実施します。	新潟県が実施する利活用に関する意見交換会への参画	地元関係者、新潟地域振興局新津整備部と新潟市で小阿賀野川水辺ふるさとラインづくり座談会を2回開催しました。	1	河川環境の整備		建設課
◆人と自然が調和した美しい景観のまちの保全								
11	新津公共下水道事業(汚水)	汚水管渠を整備し、処理開始区域の拡大を図ります。 【28年度】汚水管渠を整備し、衛生的で快適な市民生活の確保を目指します。	汚水管渠の整備、汚水処理面積の拡大	工事9件・委託12件・補償13件(合計34件)	1	→	【28年度】名称変更:汚水管渠整備事業	下水道事務所 建設課
12	流域下水道建設事業負担金(新津、小須戸)	県が行う処理場等の施設整備を促進し、河川などの水質保全を図ります。	県の工事進捗状況に合わせて、支払いを予定	県とともに施設整備の促進に取り組んでいます。(国の内示にあわせ、当初予定していた事業のうち一部を未実施・縮小したため減額となりました。)	1	→		経営企画課
13	私道等排水設備(共同管)工事助成事業	下水道への接続率の向上を図るため、私道に設置する排水設備工事費の一部を助成します。	随時	実績件数:1件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
14	水洗化改造工事奨励事業	早期の水洗化改造工事を奨励するための助成金を交付します。 ・処理開始から1年以内の改造工事:3万円 ・処理開始から1年を超え3年以内の改造工事:2万円	随時	実績件数 ・3万円案件:31件(93万円) ・2万円案件:18件(36万円)	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
15	排水設備配管延長助成事業	下水道への接続率の向上を図るため、排水設備配管延長が25mを超える場合や敷地狭隘のため屋外配管の設置困難な場合に工事費の一部を助成します。	随時	実績件数:42件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
16	排水設備設置資金貸付事業	早期の水洗化を奨励するため、汲み取り便所やし尿浄化槽の改造費を融資します。	随時	実績件数:8件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
17	公設浄化槽事業	下水道整備計画に含まれない地域や公共下水道での整備により浄化槽事業が有利な地域における、公設浄化槽の設置を進めます。 (整備対象区域:長割、川口(鮭川)、三枚湯、三津屋、野方、小屋場(二ツ屋)、塩谷、割町、金津、中新田)	随時	実績件数:1件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
18	ごみの減量化とリサイクルの推進	区民の3R(スリーアール)意識の向上、ごみ分別の徹底を促すため、各種広報媒体を活用した広報・啓発活動を行うとともに、地域のごみ集積場を巡回して現状の把握と啓発に努めます。	・各種広報媒体、イベントなどを活用した広報・啓発 ・地域のごみ集積場巡回の実施か所数300か所	・市報、FMIにいつ、クリーン作戦などで広報・啓発を実施しました。 ・地域のごみ集積場は312か所巡回し、良好な状態であることを確認しました。	1	→		区民生活課
19	原油湧出対策事業	新津・小須戸地域に原油湧出箇所が点在しており、河川への流出を防ぐため、油水分離槽やオイルフェンス設置等の対策を行い、水質の保全に努めます。 【28年度】原油湧出箇所が点在しているため、管理者等への指導を行うとともに、公共水域への流出防止対策を行います。	随時	管理者等への指導を行うとともに、公共水域の流出防止対策を行いました。	1	→		区民生活課
◆田園型環境都市の実現								
20	環境に配慮した温室ハウス下水熱利用事業	うららこすど展示即売施設において、冬季の植物管理のための暖房を、老朽化する灯油設備から下水熱を利用した設備へ入れ替え、花き花木市場の促進と地球温暖化防止策に努めます。	園芸ハウス用ヒートポンプ設置(下水熱利用暖房設備)	園芸ハウス用ヒートポンプ空調機の設置工事を行い、年度内に完了しました。	1	—	27年度で終了	産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
21	田園資源活用推進事業	地域の豊富なバイオマス資源のエネルギー活用を推進するため、「田園資源活用計画」を策定し、活用施策を体系的かつ具体的に進めていきます。 また、農家を対象とした「籾殻燃料モニター実証」を実施し、ビニールハウスの暖房用燃料としての課題抽出・評価を行います。	計画策定 籾殻燃料モニター実証の実施	「田園資源活用計画」を策定するとともに、田園資源のエネルギーとしての実用化に向けて園芸農家を対象にした「籾型燃焼モニター実証」を実施しました。	1	計画・実証に基づく取組の実施		産業振興課

II 楽しく元気なまちなかやさしさのあるまち

◆産学官、地域が連携したまちなか活性化

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
22	まちなかの魅力創出事業	新潟薬科大学新津駅東口キャンパス開設に向けて、産学官と地域が連携して、学生とともにまちなかの魅力を創造する仕組みを構築します。 【28年度】・・・キャンパス開設を契機とし、・・・	大学・学生と地域・商店街との交流の促進	まちなかでの講義や映画鑑賞、まち歩きなど、学生と商店街が出会う機会を作りました。また、学生と飲食店が協力して飲食店マップを作成しました。	1	大学・学生と地域・商店街との連携事業の実施		産業振興課
23	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化の具現化に向けた、関係機関・団体等による協議を進めます。	3部会による検討及び事業実施	産学官及び地域・住民等との連携による、まちなか活性化や健康づくりなど、持続可能なまちづくりの具現化に向けた各種取り組みを行いました。	1	→		地域課

◆安心・安全なまちづくり

24	雨水排除改善事業 (新津公共下水道事業)	雨水管渠を整備し、浸水対策の強化を図ります。 【28年度】雨水管渠や雨水貯留施設を整備し、浸水対策の強化を図ります。	雨水施設整備のための、測量設計・実施設計業務委託の発注	当初、小須戸公民館跡地に整備する雨水調整池の実実施設計委託を予定していましたが、その建物の除去が見送られたため減額となりました。	3	雨水施設整備のための、測量設計・実施設計業務委託の発注と整備工事の実施	【28年度】 名称変更:浸水対策施設整備事業	下水道事務所 建設課
25	下水道施設改善事業 (新津公共下水道事業)	改築更新として、老朽管の更生や雨水ポンプ場の電気設備の更新を実施します。 地震対策として、マンホール等の耐震補強や雨水ポンプ場の耐震化工事を実施します。 【28年度】改築更新として、老朽管の更生やマンホール蓋等の取替えを実施します。 地震対策として、マンホール等の浮上防止や管口部の可とう化対策を実施します。	・改築更新(工事)管渠L=234m、ポンプ場2棟 ・地震対策(工事)ポンプ場2棟	改築更新工事(管渠5件L=367m、ポンプ場2件) 地震対策工事(ポンプ場2件)、委託業務(4件) (当初計画との請負差額が生じたため減額となりました)	1	・改築更新(工事)管渠 L=790m、ポンプ場2棟 ・地震対策(工事)管渠 L=320m、ポンプ場2棟	【28年度】 名称変更:下水道施設改築・更新及び耐震化事業	下水道事務所 建設課・秋葉下水道課 下水道管理センター 施設管理課
26	雨水貯留浸水対策推進事業	雨水の流出抑制を図るため、家庭での雨水貯留タンクの設置を支援します。	家庭での雨水貯留タンクの設置助成の促進	実績件数:7件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
27	防水板設置等工事助成事業	集中豪雨による浸水被害を軽減するため、住宅や店舗等の敷地内に設置する防水板設置を支援します。	浸水の恐れがある区域における建物への設置助成の推進	実績件数:0件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
28	駐車場かさ上げ工事助成事業	集中豪雨による浸水被害を軽減するため、住宅に付属した駐車場のかさ上げ工事を支援します。	浸水の恐れがある区域における駐車場のかさ上げ工事助成の推進	実績件数:1件	1	→		下水道事務所 秋葉下水道課
29	自主防災組織育成事業	地域住民による自主的な防災活動を推進するため、自主防災組織結成世帯数割合の向上を図り、組織の育成を行います。	自主防災組織結成世帯数割合 80% 防災訓練実施促進	4自治会が新規に自主防災組織を結成しました。3月末現在、173自治会中、結成済み130自治会で、結成世帯率82%となりました。	1		自主防災組織結成促進 防災訓練実施促進	総務課
30	自主防災組織強化事業	地域防災において重要な担い手となっている自主防災組織に必要な資材の購入に対する支援を行い、自主防災組織の強化を図ります。	自主防災組織購入資機材等への助成の実施	8組織に対し、自主防災組織強化のための助成を行いました。	1	→		総務課
31	要援護者対策	「地域の助け合い」による要援護者支援の推進のため、「災害時要援護者名簿」の配布を自主防災組織や協力自治会へ行います。	名簿未配布地域の解消	121組織、16協力自治会に災害時要援護者名簿を送付しました。	1	→		総務課
32	防災啓発事業	防災意識の啓発及び防災知識の普及に努め、「自助」「共助」による「減災」の取組みの推進を行います。	自主防災組織リーダー育成	・起動試験放送は毎月第3日曜日に計12回実施しました。 ・自主防災組織リーダー育成実技講習会を開催しました。(参加者 48名) ・「秋葉区防災研修ツアー」として、中越地震被災地での研修を実施しました。(参加者 27名) ・「市政さわやかトーク宅配便」での防災啓発を4回開催しました。	1	→		総務課
33	交通安全運動推進事業	交通安全運動・交通事故防止運動等を実施し、交通安全意識の啓発及び交通マナーの向上を図り、交通事故防止に努めます。	交通安全意識の啓発 ドライバーの交通マナーの向上	春の交通安全運動(5月11日～20日)、夏の交通事故防止運動(7月22日～31日)、秋の交通安全運動(9月21日～30日)、冬の交通事故防止運動(12月11日～20日)、高齢者交通事故防止運動(10月1日～31日)の各期間に街頭指導・高齢者訪問及び広報車による啓発活動等を実施しました。	1	→		総務課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
34	交通安全教育強化事業	幼児・児童生徒及び高齢者等を対象に交通安全教室を開催し、交通安全知識の普及を行います。また、各校区交通安全推進協議会に街頭指導用品等を配布し、交通安全の啓発と交通事故の防止を図ります。	交通安全教室の開催 交通安全街頭指導用品の配布	交通安全教室を93回実施し、4,788人の参加者がありました。(内訳:幼児49回、児童17回、地域5回、高齢者22回)	1	→		総務課
35	交通災害共済の加入促進	新潟県交通災害共済への加入促進を図り、交通事故被害者救済を行います。	共済加入事務の実施 共済請求受付の実施	加入者数35,004人、見舞金支給146件でした。	1	→		総務課
36	区民の安心・安全対策事業	「振り込め詐欺の防止」や「鍵かけの励行」等の推進のため、警察と連携し、防犯意識の啓発と知識の普及を進めます。	防犯啓発活動の実施	・FMIをいつを利用して、「防犯ワンポイント」放送をしました。(期間 3月1日～3月23日 放送回数69回) ・警察と連携して、街頭啓発活動を13回開催しました。 ・電話機に貼る振り込め詐欺注意シールを、各種講習会や高齢者訪問時に警察と連携して配布しました。	1	→		総務課
37	幼稚園園舎大規模改造事業 (小須戸幼稚園)	老朽化した小須戸幼稚園園舎の内部改修、外壁改修などの大規模な改修工事を行い、教育環境の改善を図ります。	実施設計	大規模改造工事の実施設計を完了しました。	1	→		教育支援センター
38	結幼稚園移転改築事業	老朽化した結幼稚園の移転改築に向けて、調査等を進めます。	移転先・整備内容検討 地元説明	平成28年度中に今後の方向性を出す予定です。	3	→		教育支援センター
39	指定避難所耐震補強事業 (非構造部材耐震化)	学校施設は、災害時に地域の応急避難所としての役割を果たすことから、落下した場合に大きな事故が起こりやすい屋内体育館・武道場の天井等(非構造部材)について耐震対策を行います。	小学校:7校 中学校:4校	小学校6校、中学校3校について工事を完了しました。小学校1校、中学校1校については繰越し、平成28年度に工事します。(平成28年度へ繰越し12,846千円)	2	小学校:1 中学校:1		教育支援センター
40	地域見守り活動支援事業	児童生徒の登下校の安全確保のため、小学校区ごとに地域の実態に応じて組織する子どもを見守るボランティア活動を支援します。	活動の支援	登下校時を中心に、児童生徒の安全確保を図るために、小学校区ごとで組織している子どもを見守るボランティア活動への支援、指導・助言を行ってきました。	1	→		教育支援センター
41	交通安全施設整備事業	関係機関と通学路合同点検を実施し、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保を図っていきます。	合同点検(2回/年)実施 路側帯塗装工事ほか	合同点検(1回/年)を実施しました。 カラー舗装 A=313m ² 、区画線 L=657m 道路反射鏡 N=2基、転落防止柵 L=323m	1	→		建設課

◆支え合いによる健康でいきいきと暮らせるまちづくり

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
□ 明るく元気な地域づくり								
42	学校開放事業	学校教育に支障がない範囲で、学校施設をスポーツ・レクリエーション活動、子どもの居場所などの場として開放します。	区内全小中学校	秋葉区の全小中学校(小学校13校、中学校6校)で実施しました。	1	→		地域課
43	秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」を推進するため、進行管理と評価を実施し、必要に応じて計画の見直し等を行います。	年2回程度の開催	計画初年度は、7月と3月に推進委員会を開催し、活動計画に沿った事業及び「地域活動を進める78の提案」の進行管理や意見交換を行いました。	1	→		健康福祉課
44	秋葉区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、地域課題の解決に取り組む団体に対して事業費の一部を助成し、活動を支援し、誰もが安心して暮らせる秋葉区を目指します。	3~4団体程度	地域課題の解決に取り組む2つの団体(継続1・新規1)に対し、助成を行いました。継続した活動となるよう指導していきます。	1	→		健康福祉課
45	地域ですくすく子育てサポート	身近な子育て支援の場を提供することにより、地域で安心して子育てができるよう支援体制の確立を進めます。 【28年度】より身近な子育て支援を充実させることにより、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てができる環境を作ります。	中学校区ごとの子育てサロンの開設	子育てサロンを区内7か所で133回開催しました。金津中学校で中学生の乳幼児ふれあい体験を実施しました。NPプログラム3回、BPプログラム1回開催 子育て講演会開催(11月7日 講師:明橋 大二)	1	区内7か所で139回	【28年度】事業再編:(名称)うれしい!楽しい!子育て	健康福祉課
□ 安心で安全な地域づくり								
46	防犯灯設置補助事業	自治会・町内会等が当該地域内及び当該隣接地域の夜間における犯罪を防止し、明るく住みよいまちづくりを目標として自主的に設置管理する防犯灯等を対象に、設置費の一部を補助します。	自治会・町内会の申請に対して補助事業を実施	団体から申請があり、補助金を交付しました。	1	→		地域課
47	防犯灯電気料補助事業	自治会・町内会等が当該地域内及び当該隣接地域の夜間における犯罪を防止し、明るく住みよいまちづくりを目標として自主的に設置管理する防犯灯等を対象に、電気料の一部を補助します。	全自治会・町内会に対して補助事業を実施	団体から申請があり、補助金を交付しました。	1	→		地域課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
48	地域子育て支援センター事業	地域の子育て支援の情報収集・提供に努め、関係機関と連携しながら子育てに関する支援・相談を行います。	新津育ちの森へ運営委託	地域子育て支援センター「新津育ちの森」において、積極的に子育て支援活動を進めました。	1	→		健康福祉課
49	子ども虐待予防ネットワーク事業	支援の必要な家庭について、関係機関との連携を強め支援のネットワークを広げます。	定例実務者会議の開催 個別事例への対応	実例実務者会議や個別ケース検討会議を開催するなど、関係機関との連携を図りながら対応しました。	1	→		健康福祉課
50	民生委員・児童委員の支援	地域住民の相談や見守り活動などを実施している民生委員を支援することにより、一層安心して暮らせる地域づくりを目指します。	会長会・地区定例会出席 個々のケース支援	個々の活動や秋葉区民生委員児童委員連絡協議会、会長会及び地区定例会を支援し、安心して暮らせる地域づくりを目指しました。	1	→		健康福祉課
51	高齢者等あんしん見守りネットワーク事業	高齢者等、地域の中で支援が必要と思われる方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民や協力事業者による見守り活動の中で異変等を発見したときに、すみやかに対応できる体制を強化します。	見守り意識の啓発による体制強化	認知症サポーター養成講座で見守り意識の啓発を図るほか、地域全体での見守り活動の取り組みについては区社協と連携して地域に働きかけました。	1	→		健康福祉課
52	地域包括ケアシステム 高齢者を地域で支えるモデル事業	高齢者が住み慣れた地域で、できる限り暮らし続けられるよう、住民組織、NPO等を主体とした高齢者を地域で支えるモデル事業を実施します。 【28年度】生活支援および介護予防サービスの体制整備に向け、支え合いのしくみづくり会議(協議体)を設置し、地域ニーズの把握やネットワーク構築、定期的な情報共有などを行い、地域の支え合い活動の推進を図ります。	モデル事業の実施、検証	高齢者を地域で支えるモデル事業を2団体に事業委託し、草取りなどの生活支援や地域の茶の間での介護予防事業に取り組みました。 委託団体:たか坪の会、長寿楽	1	→	【28年度】 内容変更:(名称)地域包括ケアシステムの構築	健康福祉課
<input type="checkbox"/> 健康で豊かな地域づくり								
53	足腰鍛えて笑顔で長生き	ロコモティブシンドロームを広く啓発するとともに、その予防を目的とした体操の普及支援を行い、高齢者がそれぞれの地域で元気な毎日を送れるよう支援します。	予防体操普及のための支援回数	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、理学療法士による体操の普及活動支援 34回 延べ736人参加 ・ロコモ予防イベントの開催 1回 120人参加 ・ロコモ予防講演会の開催 1回 81人参加 ・普及サポーターの研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 養成研修 6回コース 52人養成 ステップアップ研修 1回 43人参加 	1	→	【28年度】 事業再編:(名称)ロコモ予防で健康長寿	健康福祉課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
54	特定保健指導事業	特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群と判定された方を対象に、生活習慣改善の支援を行います。	保健指導実施率	メタボリックシンドローム対象者(積極的支援 対象72人) 集団指導・面接・電話等で支援 延54人、6か月後支援 延12人 メタボリックシンドローム予備軍(動機付け支援 対象355人) 集団指導、電話等で支援 延べ187人	1	→		健康福祉課
55	健康教育事業	生活習慣病予防教室・健康増進普及講習会(食生活の改善)や地区からの依頼を受け、疾病予防と健康増進の知識の啓発・実践支援のための健康教育を継続実施します。	実施回数	生活習慣病予防教室 4回コース×2回 延51人 半日教室 4回 延48人 プラス10教室 10回 延42人 健康増進普及講習会 15回 延216人 講演会 4回 147人 その他成人関係(地区からの依頼含む) 111回 延2,243人 思春期健康教育(中学生対象) 6回 686人 その他の母子関係(地区からの依頼含む) 11回 217人	1	→		健康福祉課
56	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会【健康部会】	新潟薬科大学と連携した食による健康づくりに向け、機関・団体等による協議を進めます。	部会による検討及び事業実施	健康部会 4回開催 新潟薬科大学学生による地域での健康自立セミナー 8回実施	1	→		健康福祉課
57	障がい者チャレンジ支援	福祉施設に通所する障がい者に事務作業訓練の場を提供し、就労に向けた能力向上と生きがいのある生活を支援します。	作業日数 90日 (延べ230人)	区役所及び企業で実習作業・職場体験を行い、協力企業の障がい者に対する理解と、障がい者の就労意欲の向上に努めました。 協力企業13か所	1	→		健康福祉課
58	認知症サポーター養成講座	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを養成します。	受講者数	認知症サポーター養成講座を開催しました。 ・開催回数:12回 (地域住民6回、小学校3回、職域3回)	1	→		健康福祉課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
59	母子・成人健診(検診)事業	乳幼児に対し健康診査を行い、適切な指導及び支援を行うことで健全な育成を図ります。また、成人検診では、がんの早期発見早期治療につなげ、市民の健康の保持増進をすすめます。	受診者数	母子健診 ・股関節検診:10回実施 504人受診 ・1歳6か月児健診:13回実施 511人受診 ・3歳児健診:16回実施 613人受診 成人健診(集団検診分) ・胃がん検診:31回実施 1,397人受診 ・肺がん検診:41回実施 4,149人受診 ・乳がん検診:21回実施 1,438人受診	1	→		健康福祉課
□ 相談しやすい体制づくり								
60	自立支援協議会	「障がいの有無にかかわらず、普通に暮らせる地域社会」を実現することを目的として、関係機関が連携・一体となって障がいのある方を支援するために協議を行います。	協議会の開催 (4回/年)	障がいサービスの課題整理や社会資源の開発・改善、施策提案などに努めました。協議会4回、ケース会議・検討会24回、随時会議複数回	1	→		健康福祉課
61	障がい者基幹相談支援センターの運営	従来からの障がい者に対する一般的相談支援に加え、施設等からの地域移行促進に係るコーディネート業務や、権利擁護・虐待防止にかかる啓発や研修、相談支援事業所等への研修を通じた人材育成や助言指導などのスーパーバイズ業務を付加し障がい者総合支援法第77条の2号に基づく「基幹相談支援センター」として相談支援体制を強化することにより、障がい者が安心して地域で暮らせる体制を整えます。 【28年度】障がい者に対する一般的相談支援の他、相談支援事業者等への指導や助言・研修を通じた人材育成、地域移行に係るコーディネート、権利擁護・虐待防止にかかる啓発活動。また、障がい等を理由とした差別相談を行います。	相談件数	訪問、来所、電話等による相談支援業務を行いました。担当エリア(秋葉区・江南区・南区)訪問547件、来所611件、電話4,686件、その他659件 個別支援(ケース会議)216回、研修会・会議189回	1	→		健康福祉課
62	すくすく子育て情報発信	スマホなどから簡単に情報を入手できるよう、QRコードを活用して子育てに必要な情報を発信します。 【28年度】(追加)必要な情報のリサーチや追加情報のカードを作成・配布します。	情報の選択・ファイルの作成・送付	QRコードを印刷したファイルを配布し、必要な情報を簡単に得られるようにすることにより、子育て支援を行いました。ファイル作成のリサーチ(育ちの森利用)ファイルの作成送付(2月19日 2,720世帯)	1	情報の更新等		健康福祉課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
63	保健福祉相談・訪問指導事業	精神障がい、知的障がい、身体障がい、児童虐待、高齢者虐待、結核、難病、生活習慣病など、妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉に関する相談に対して、関係機関と連携し、迅速に対応を行います。	相談件数・訪問件数	妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉の相談に対して、保健師ケースワーカーが関係機関と連携し迅速に対応しました。	1	→		健康福祉課
64	生活困窮者相談支援	経済的に困窮している方について、相談しやすい環境づくりに努め、就労に向けた支援や住居確保のための支援など、相談者の状況に応じた支援を行います。	相談件数	相談者の状況に応じ、就労支援や食糧支援などを行い、生活安定のための支援を行いました。	1	→		健康福祉課
65	ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口	ドメスティック・バイオレンス(DV)について、相談しやすい環境づくりに努めます。	相談件数	相談者のプライバシーに配慮し、相談しやすい環境づくりに努めました。	1	→		健康福祉課
◆秋葉区の個性を活かした次世代を育む環境づくり								
66	学ぼう・育てよう「環境林・保健休養林」事業(再掲)	にいつ丘陵を市民協働で保全し、環境教育や自然体験活動など、里山の利活用の促進を図ります。	事業参加者 1,200名	朝日の森森林整備や秋葉つる切り隊などに市民から参加いただき、里山の保全に努めました。また、アキハアウトドアスポーツフェスタなど里山を活用したイベントを実施しました。	2	→		産業振興課
67	幼稚園園舎大規模改造事業(小須戸幼稚園)(再掲)	老朽化した小須戸幼稚園園舎の内部改修、外壁改修などの大規模な改修工事を行い、教育環境の改善を図ります。	実施設計	大規模改造工事の実施設計を完了しました。	1	→		教育支援センター
68	結幼稚園移転改築事業(再掲)	老朽化した結幼稚園の移転改築に向けて、調査等を進めます。	移転先・整備内容検討 地元説明	平成28年度中に今後の方向性を出す予定です。	3	→		教育支援センター
69	家庭教育振興事業	子どもの成長期に合わせて、子育てに関する知識や情報、親としての関わりなど必要な家庭教育事業を実施します。(乳児期・幼児期・児童期)	3回実施	子どもの成長期により乳児期、幼児期、児童期家庭教育学級を実施しました。	1	→		新津地区公民館
70	子ども体験活動推進事業	子どもたちが創作活動や集団活動の喜びを感じることが出来る体験活動事業を実施します。	2回実施	あきは体験隊、ツリークライミング体験を実施しました。	1	→		新津地区公民館 小須戸地区公民館
71	子ども「創造塾」	子どもたちが自ら考え創造する力を育てると共に世代間交流を図るため、地域と連携して集団活動や体験教室を実施します。	10回実施	秋葉区内の小学校やコミュニティ協議会、新潟薬科大学等との連携により、各種体験教室を実施しました。	1	→		新津地区公民館 小須戸地区公民館

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
72	ふるさと秋葉区社会見学事業	地域づくりに繋がる指定のテーマに沿った区内小学校4年生及び6年生の校外学習に対し、移動交通手段を確保します。	全対象学年(学級)の実施	秋葉区内小学校13校の小学4年生及び6年生の対象学年全てにおいて実施しました。	1	→		地域課 教育支援センター
新規	「秋葉 ひと・まち・みらい」元気創出事業	秋葉区の特徴を活かした地域活動や市民生活に取り組む新たな人材を発掘・育成し、活動体験の場を提供します。	—	—	—	講座の開催	28年度新規	地域課
新規	あきはステップファーム	障がい者福祉施設で行う、大麦などの栽培や収穫、加工の作業体験を通し、障がい者の就労支援や農業体験を活用した子育て、学生の農業に対する理解や農業分野への就労意欲の醸成を図ります。	—	—	—	実施回数5回 (延べ350人)	28年度新規	健康福祉課
◆持続可能な地域公共交通環境の構築								
73	区バス運行事業	区内における公共交通手段として、公共施設などを繋ぐ区バスを運行します。	・収支率30%以上 ・年間乗車人数26,000人	七夕、ハロウィンなどの時期に合わせたデコレーションバスやキャンペーンなど、親しみやすい区バスを目指し、利用者の確保に努めました。なお、収支率は37%、年間乗車人数は28,083人でした。	1	→		地域課
74	公共交通空白地域の解消	住民バスなどの制度の周知を図り、地域とともに持続可能な地域公共交通の環境を構築します。	区内11コミ協への周知	全コミュニティ協議会に対し制度周知と意向調査を行うとともに、希望のあった2団体には個別に説明会を実施しました。	1	アンケートの実施		地域課
◆交通網の整備								
75	国・県道整備事業	広域な地域間交流・連携を図るほか、移動時間の短縮や渋滞の解消のため、国・県道の整備を進めます。	臼井橋供用開始 小須戸橋架替概略設計	臼井橋の供用開始をしました。 小須戸橋の地質調査、平面図等作成を行いました。(地質調査を平成28年度へ繰越)	2	小須戸橋架替の地元調整		建設課
76	幹線市道整備事業	広域な地域間交流・連携を図るほか、移動時間の短縮や渋滞の解消のため、幹線市道の整備を進めます。	工事実施2路線	道路改良工事を2路線行いました。 工事延長L=1,189m (平成28年度へ繰越)	1	工事実施1路線		建設課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
77	道路整備事業	生活道路は、地域事業に対応して子どもや高齢者・障がい者も安全かつ快適に利用できるように、道路改良、道路舗装、側溝整備を進めます。また、緊急車両の通行に対応した拡幅を推進し、安心できる住民環境づくりに努めます。	測量設計及び工事実施 38路線	道路改良工事 10路線 工事延長L=654m 舗装工事 8路線 工事面積A=1,968m ² 側溝工事 9路線 工事延長L=573m 排水路改良工事 11路線 工事延長L=770m 設計業務委託等 19路線 (排水路改良工事(1路線)を平成28年度へ繰越)	1	測量設計及び工事実施		建設課
78	国道403号の延伸	広域な地域間交流・連携を図るほか、移動時間の短縮や渋滞の解消のため、幹線道路の整備を進めます。	整備供用予定延長 1.56km	道路改良工事を行いました。 工事延長L=1,560m	1	遺跡調査・工事実施		建設課
79	国道460号バイパス	広域な地域間交流・連携を図るほか、移動時間の短縮や渋滞の解消のため、幹線道路整備の事業化に向けた検討を進めます。	法線検討	路線検討業務委託を行いました。	1	関係機関協議		建設課
80	磐越自動車道4車線化に向けた関係機関との連携	新津西スマートICが完成し、新潟市中心部や磐越道、北陸道へのアクセスが容易になったことから、磐越道の4車線化に向けた働きかけを進めます。	スマートIC利用者増に向けた関係機関との協議	PRパンフレット「新潟市のスマートインターチェンジ」を作成しました。	2	→		建設課
81	阿賀浦橋交差点付近等の渋滞緩和策の検討	地域間の連携や移動時間の短縮をはかるため、地域の幹線道路の渋滞緩和について検討を進めます。	関係機関協議や渋滞緩和策の検討	新潟市主要渋滞箇所整備優先順位設定のための勉強会を2回開催しました。	1	渋滞緩和策の実施		建設課
82	人にやさしい歩道の整備事業	不要となった幹線用水路を利用して歩道を整備し、地域間交流と健康増進を図ります。	工事実施 1路線 (サイクリングロード)	道路改良工事、照明工事を行いました。 工事延長L=495m	1	→		建設課
◆協働によるまちづくり								
83	地域交流事業	地域の人材・団体育成と学社民の融合を推進するため、地域団体や学校との連携による各種講座や教室を実施します。	5回実施	秋葉区内の小中学校を会場に地域サークル、秋葉区、秋葉区社会福祉協議会等との連携により、各種講座や教室を実施しました。	1	→		新津地区公民館 小須戸地区公民館
84	地域コミュニティ活動活性化支援事業	地域主体のコミュニティづくりを支援するため、地域コミュニティ協議会など地域団体と連携し、地域課題の解決を図るとともに、地域の人材育成を支援する事業を実施します。	2回実施	地域(コミ協、学校)と連携し環境美化活動やスクールコンサートを実施しました。	1	→		新津地区公民館 小須戸地区公民館

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
85	地域コミュニティ育成事業	地域活動の核となる地域コミュニティ協議会を支援するため、運営・活動費の助成や研修の委託を行います。	11コミ協	運営助成金を全11コミ協に交付し、地域の活動を支援しました。	1	→		地域課
86	自治会等集会所建設費補助事業	自治会・町内会が地域活動を行うため、その拠点となる集会所の建設、購入または修繕に要する経費の一部を補助します。	事業3件	3団体に補助金を交付しました。	1	事業実施		地域課
87	自治会事務委託	自治会・町内会と事務委託契約を結び、行政事務連絡等の事務委託料を支払います。	全自治会・町内会委託	173自治会・町内会に事務委託を行いました。	1	→		地域課
88	秋葉区コミふら散歩	地域コミュニティ協議会と協働で、地域の歴史や文化に目を向けたまち歩きを行います。	4コミ協実施	全11コミ協のうち、今年度は4コミ協が事業を実施しました。	1	3コミ協実施		地域課
89	区自治協議会運営事業	市民・地域などとの協働を推進するため、地域コミュニティ協議会や地域で活動する公共的団体の代表や公募委員などから構成する区自治協議会を運営します。また、地域課題の解決や地域活性化を図るため、部会を開催します。	・12回実施(本会議) ・各部会の開催	全体会議を毎月開催するとともに、4つの部会を延べ52回開催しました。各部会では、①交流のあるまちづくりに向けた情報発信と連携、②健康寿命の延伸、③次世代を育む環境づくり、④自治協議会PR事業をテーマに検討を行いました。	1	→		地域課
90	区自治協議会提案事業	地域課題の解決や地域活性化を図るため、区自治協議会が自ら企画提案し、事業を主体的に実施をします。	部会で4事業を実施	各部会において、それぞれが掲げたテーマに基づき事業を実施しました。	1	事業を実施		地域課
91	男女共同参画啓発事業	男女が対等なパートナーとして、仕事と家庭、地域活動等のバランスをとりながら、誰もが充実した生活を送れるよう、男女共同参画地域推進員などと連携し、区民の意識啓発に向けた取組を行います。	啓発事業の企画・運営	区だより等を活用して、広報啓発を実施したほか、男女共同参画地域推進員と連携した事業を行いました。	1	→		地域課
92	区教育ミーティングの開催	区担当教育委員が2人1組となり、区ごとに自治協議会委員と懇談・意見交換を行います。全市的な教育情報の発信と地域における教育の実情や区の特性を把握し、市全体の教育行政に反映します。	実施回数(2回/年)	次のとおり2回開催しました。 1回目:8月26日(区自治協議会全体) 2回目:1月28日(区自治協議会部会)	1	→		教育支援センター

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
93	中学校区教育ミーティングの開催	各中学校区の取組について、区担当教育委員、コミュニティ協議会、保護者、学校関係者等の意見交換を通して、中学校区内の地域と学校の連携を深め、取組の向上・発展を図ります。	2中学校区	次のとおり2中学校区で開催しました。 1回目:7月23日(新津第一中学校区) 2回目:11月6日(新津第二中学校区)	1	3中学校区		教育支援センター
94	地域と学校パートナーシップ事業	地域ぐるみでの学校教育活動を推進するため、各小・中学校の地域教育コーディネーターが中心となり、学校と地域団体、社会教育施設を結ぶネットワークづくりに取り組みます。	区役所だよりなどへの事業掲載 (4回/年)	・区内全校(小学校13校、中学校6校、全19校)で実施しました。 ・地域と学校ウェルカム参観日を矢代田小で実施し、地域と学校パートナーシップ事業を活用した教育活動を公開したり、参加者同士の交流を行ったりして、事業趣旨の理解と事業の推進を図りました。 ・区だよりなどで事業の紹介をし、周知を図りました。	2	→		教育支援センター
95	ふれあいスクール事業	子どもの健全育成と地域の教育力向上を図るため、小学校の余裕教室や地域の人材を活用して、放課後や土曜日の午前中などに子どもたちの安全な居場所として開放するとともに、異年齢交流や地域の大人との交流を図ります。	1校で実施	平成18年度から事業に取り組んでいる満日小学校で、年間42回開催し、子どもたちは地域の大人とのふれあいを楽しんでいます。平均参加人数は11.2名でした。	1	→		教育支援センター

Ⅲ 歴史と個性を活かすまち

◆歴史ある文化や宝物の積極的な情報発信

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
96	区だより発行事業	行政情報を的確に伝えるとともに、随時、地域固有の優れた資源・情報について掲載し、個性豊かな秋葉区について情報発信します。	年間24回発行	「市報にいがた」との合冊により、毎月第1・第3日曜日に発行しました。(年間24回発行)	1	→		地域課
97	鉄道文化魅力発信事業	JR東日本から、新潟・新津ゆかりの実物車両2両の追加導入により鉄道資料館の資料の充実を図るとともに、地域等と連携し新潟・新津の鉄道文化を全国に発信することにより、まちなかの活性化、交流人口の拡大を目指します。 【28年度】文化庁長官宮田亮平氏の絵画の複製を資料館に隣接する地域学園壁面に設置し、記念式典を開催します。また、各種の鉄道文化事業を実施し、全国からの交流人口の拡大を図ります。	新津鉄道資料館来館者数50,000人以上/年	平成27年7月にJR東日本から新潟・新津にゆかりのあるDD14ディーゼル機関車と485系特急形電車を購入し、展示しました。併せてリニューアル1周年記念式典と特別公開事業を開催し、3日間で県内外から7千人が来場しました。	2	新津鉄道資料館来館者数前年度以上		歴史文化課 新津鉄道資料館
98	秋葉区里山文化未来への種プロジェクト(再掲)	里山と関連した魅力ある資源を活かした街や、里山の利活用により人を育てることを目標とした、里山の未来を描く計画(里山文化未来の種プロジェクトデザイン)を作成します。	計画中間とりまとめ	里山に関連する団体とワークショップや先進地視察などを行い、里山文化未来への種プロジェクトデザインの中間とりまとめを行いました。	1	里山文化未来の種プロジェクトデザインの完成		産業振興課
99	スペシャルサイト「あきは発 里山冒険王」	里山情報だけに限らず、地域の話や行事についても情報発信します。 【28年度】(追加)サイト名も含め、年度内に大幅なリニューアルを予定しています。	随時更新サイトリニューアルを検討	里山に関する情報や里山の魅力を中心に、地域の情報を随時発信しました。(更新回数106回)	1	随時更新サイトリニューアル		地域課
100	FMIにいつ市政番組放送委託事業	行政情報を的確に伝えるとともに、地域の話や情報について積極的に発信します。	平日1時間枠で放送(年間260日程度)	防災情報や地域情報など、行政情報を広く区民に提供しました。(平日1時間番組 ほか)	1	→		地域課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
新規	秋葉区ブランド発信事業 AKIHA SUMU(デザイン)プロジェクト	秋葉区の魅力をブランド化し、統一したイメージで情報発信するとともに、秋葉区への移住・定住者の獲得を目指した仕組みづくりに取り組みます。	—	—	—	ブランドの確立 情報発信の仕組みづくり	28年度新規	地域課
◆個性を活かした交流のあるまちづくり								
101	「はな・花・華」いっぱい事業	国道403号線沿い「フラワーロード」を市民と協働で維持管理をし、「花の秋葉区」のイメージ定着及び交流人口の増加を図ります。	種まきイベントの実施 菜の花・ひまわり・コスモス花壇の維持管理	フラワーロードひまわり種まきイベントを実施しました。	1	→	【28年度】 事業再編:(名称)R403フラワーロード整備事業	地域課
102	はさ木並木等管理事業	市指定文化財の「満願寺はさ木並木」及び県指定文化財の「八珍柿原木」の維持管理をします。	適正な維持管理	「満願寺はさ木並木」については、害虫駆除や剪定等の業務委託を実施しました。「八珍柿原木」については、保存維持管理業務委託を実施しました。	1	→		地域課
103	文化財保護調査事業	市指定文化財の「妙蓮寺山門」及び「煮坪」の維持管理、標柱・案内板の修繕・製作、文化財の保護・調査をします。	区内市指定文化財の保護・調査	妙蓮寺山門消防設備保守点検業務委託と煮坪管理業務委託を実施し、その他の文化財の保護・調査を進めました。	1	→		地域課
104	石油文化普及啓発事業	金津油田を中心とした近代産業文化遺産を活用した講演会の開催や関連する市民団体の活動を支援します。(講演会・野外見学会開催)	講演会・野外見学会開催	石油に関する講演会及び野外見学会(平成27年6月6日)と市民講演会(平成28年2月6日)を開催しました。	1	→		地域課
105	吉田文庫資料調査事業	歴史地理学者吉田東伍父子関連資料の調査研究および普及啓発事業を進める吉田文庫の活動を支援します。(ブックレット発行又は調査目録提出)	ブックレット発行又は調査目録提出	吉田文庫の調査研究活動とブックレット刊行を支援しました。	1	→		地域課
106	地域文化施設の活用	小須戸本町商店街に明治時代から現存する町屋を活用し、小須戸特有の地域文化の交流と啓発を推進します。	各種事業の開催	小須戸町屋(薩摩屋)の開館業務・企画展業務を小須戸コミュニティ協議会に委託しました。	1	→		地域課
107	観光誘客宣伝事業	秋葉区の自然、文化、観光施設、特産品のPRを通じて観光誘客、交流人口の拡大を図ります。	観光入込客数 235万人/年	秋葉区の観光マップを発行(17,000部)するなど、観光PRに努めました。	1	→		産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
108	観光協会補助事業	地域の伝統・文化に根ざしたまつり、観光イベントや観光PRを実施し、観光振興を通じた区の活性化を図るため、観光協会の活動を支援します。	支援の継続	夏まつりや鉄道まつり、花ふるフェスタなどの地域の歴史や観光資源を活かしたイベントや、観光宣伝が行われました。	1	→		産業振興課
109	磐越西線SL定期運行推進協議会事業	「SLばんえつ物語」号と磐越西線沿線のPRを行い、SLを通じた観光誘客と地域活性化を図ります。	負担金の支出	新津駅での歓迎セレモニーや、車両内でのイベントなどを通じて、「SLばんえつ物語」号のPRや魅力の向上に努めました。	1	→		産業振興課
110	阿賀野川ライン観光協会事業	阿賀野川流域の自治体、民間団体と連携し、阿賀野川ライン観光事業の発展を図ります。	負担金の支出	流域の資源を活かした「阿賀野川ライン酒の陣銘酒と名湯ごっつおまつり」を開催しました。協会財政に余裕があり、27年度負担金は不要となりました。	1	→		産業振興課
111	鉄道文化魅力発信事業(再掲)	JR東日本から、新潟・新津ゆかりの実物車両2両の追加導入により鉄道資料館の資料の充実を図るとともに、地域等と連携し新潟・新津の鉄道文化を全国に発信することにより、まちなかの活性化、交流人口の拡大を目指します。 【28年度】文化庁長官宮田亮平氏の絵画の複製を資料館に隣接する地域学園壁面に設置し、記念式典を開催します。また、各種の鉄道文化事業を実施し、全国からの交流人口の拡大を図ります。	新津鉄道資料館来館者数50,000人以上/年	平成27年7月にJR東日本から新潟・新津にゆかりのあるDD14ディーゼル機関車と485系特急形電車を購入し、展示しました。併せてリニューアル1周年記念式典と特別公開事業を開催し、3日間で県内外から7千人が来場しました。	2	新津鉄道資料館来館者数前年度以上		歴史文化課 新津鉄道資料館
112	鉄道を活かしたまちづくり推進事業	鉄道に関する施設、歴史、人材を活用し、市民協働事業による「鉄道の街」としてのイメージアップを通じて、まちなかの活性化と交流人口の拡大を図ります。	鉄道商店街などの開催	10月の「鉄道商店街」のほか、鉄道資料館入館者への特典提供、商店主自身によるまち歩きガイドなど、年間を通じて「鉄道の街にいつ」のイメージ醸成に努めました。	1	→		産業振興課
113	春・夏まつり開催事業	春・夏の新津まつりの臨時露店を開設します。	春・夏まつり臨時露店の開設	春まつり(4月23日、24日)と夏まつり(8月19日、20日)にて臨時露店が開設されました。	1	→		産業振興課
114	小須戸まつり開催事業	300年以上の伝統を誇る小須戸喧嘩燈籠まつりを開催する小須戸まつり協賛会の運営を支援します。	支援の継続	小須戸喧嘩燈籠まつり(8月24日、25日)が開催されました。	1	→		産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
115	満願寺稲架木並木活用事業	市指定文化財「満願寺稲架木並木」を活用し、昔ながらの農村風景を再現することにより、田園環境への理解を深め、自然豊かな秋葉区のイメージアップを図ります。 【28年度】満願寺稲架木並木は市の指定文化財であり、他区に例を見ない秋葉区の観光資源です。この並木にはさ掛けをする貴重な体験の場を提供することで交流人口を増やし、また、稲架木並木を再現することで観光の推進を図ります。	田植え、稲刈り及びはさ掛け体験の実施 はさ掛け風景の再現	5月10日(日) 田植え 9月13日(日) 稲刈り、はさ掛け	1	→	【28年度】事業再編:(名称)満願寺稲架木並木を活用した観光交流事業	産業振興課
新規	観光資源ライトアップ事業	魅力が大きく注目を集めやすい樹木や建物を季節に応じてライトアップすることを通じて、観光資源の再認識と交流のあるまちづくりを図ります。	—	—	—	ライトアップ機材のコミュニティ団体への貸出	28年度新規	産業振興課

◆文化の継承と創造による文化活動の振興

116	秋葉区美術展覧会	秋葉区内の美術を愛好する市民の創作作品の発表の場を提供するとともに、生活の中に美術を味わう楽しさの普及を図ります。	美術展覧会の開催 (1回/年)	12月17日(木)から12月23日(水・祝)の7日間、新津美術館にて実施しました。	1	→		新津地区公民館 地域課
117	地域学振興事業	専門家の視点を学びながら小須戸地域の魅力再発見に取り組むことで、地域資源活用による学習活動を推進します。	1回実施	小須戸の文化資料をもとに、地域の文化活動を振り返り見つめ直す機会として、小須戸の文化(入門編)を実施しました。	1	→		小須戸地区公民館
118	文化活動振興事業	秋葉区内における各種文化活動の創作発表の場を提供することで、文化活動の推進につなげます。	4回実施	秋葉区芸能祭、文芸あきは発行、小須戸地区市民展・芸能祭を実施しました。	1	→		新津地区公民館 小須戸地区公民館
119	文化会館管理運営	文化・芸術事業を主催し、文化・芸術活動を支援・育成するとともに、会館の管理を行います。	文化・芸術活動の支援	指定管理者制度により、文化・芸術活動を支援・育成するとともに、施設の管理を実施しました。	1	→		地域課

◆健康で豊かなスポーツ活動の振興

120	総合体育館管理運営	教室・講習会等を開催し、スポーツ活動の振興を図るとともに、総合体育館・新津武道館の管理を行います。	スポーツ活動の振興	指定管理者制度により、スポーツ活動を支援・育成するとともに、施設の管理を実施しました。	1	→		地域課
-----	-----------	---	-----------	---	---	---	--	-----

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
121	スポーツ大会開催事業	秋葉区体育協会の主管により区民スポーツ大会を開催します。	区民スポーツ大会の開催	秋葉区スポーツ大会開催事業補助金を交付し、区民スポーツ大会を開催しました。(20団体・65大会)	1	→		地域課
122	地区スポーツ振興会補助事業	地域のスポーツ振興と活性化を推進する地区スポーツ振興会の活動を支援します。	地区スポーツ振興会活動の支援	区内のスポーツ振興会(10振興会、13小学校区分)に補助金を交付し、その活動を支援しました。	1	→		地域課
123	各種教室開催事業	健康づくりを基本に、生涯スポーツの普及に取り組めます。(レクリエーション事業実施)	生涯スポーツの普及	秋葉区レクリエーション事業を6事業行いました。	1	→		地域課
124	新津カップ開催事業	新潟県少年サッカー選手権大会及び新潟県少年サッカー5年生大会を実施します。(新津カップ新潟県少年サッカー選手権大会実施、新津カップ新潟県少年サッカー5年生大会実施)	事業開催	新潟県少年サッカー5年生大会を開催しました(平成27年10月24・25日)。	1	→		地域課
125	少年野球教室開催負担金	秋葉区の少年野球のレベルアップを図るため、野球教室を開催します。(少年野球教室開催)	野球教室開催	平成27年12月19日に開催しました。	1	→		地域課

IV 花のまち・食のまち・育てるまち

◆全国屈指の花き・花木の園芸産地の魅力発信

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
126	花の写真コンテスト開催事業	花の撮影会、写真コンテスト、作品展示を通じて、「食と花の政令市」新潟と秋葉区特産の花き・花木を広く紹介します。	撮影会、コンテスト実施 コンテスト応募者数200名	花の大撮影会、審査、表彰式を実施しました。入賞作品の展示会は食育・花育センターや秋葉区文化会館などの5会場で開催しました。	1	→		産業振興課
127	「はな・花・華」 いっぱい事業(再掲)	まちなかでの花壇設置、花き・花木の直売施設との共同企画の推進を通して、花き・花木産業の振興、「花の秋葉区」のイメージ定着及び交流人口の増加を図る。 【28年度】まちなかでの花壇設置、花き・花木の直売施設との共同企画の推進を通して、花き・花木産業の振興、「花のまち秋葉区」のイメージ定着及び交流人口の増加を図ります。	各事業の実施	メディアシップ花展示、園児フラワーアレンジメント、花のバスツアー、Akihaクリスマスローズ展などを実施しました。	1	→	【28年度】 事業再編:(名称)「花のまち」 PR事業	産業振興課
128	園芸推進事業	秋葉区の基幹産業であり、全国有数の花き花木生産地として、さつき祭り、寒梅まつり、日本ボケ展などの花イベントや特産品種などをPRして園芸振興を図ります。	各事業の実施	各種イベントの開催やそれに伴う広報PR並びに展示会優秀者への表彰等を行い、園芸振興を図りました。	1	→		産業振興課
129	環境に配慮した温室 ハウス下水熱利用 事業(再掲)	ららこすど展示即売施設において、冬季の植物管理のための暖房を、老朽化する灯油設備から下水熱を利用した設備へ入れ替え、花き花木市場の促進と地球温暖化防止策に努めます。 (熱回収管等の整備は、下水道部の再生可能エネルギー利活用事業で実施する。)	園芸ハウス用 ヒートポンプ設置(下水熱利用 暖房設備)	園芸ハウス用ヒートポンプ空調機の設置工事を行い、年度内に完了しました。	1	—	27年度で終了	産業振興課
◆環境にやさしい、安心・安全な農作物の供給								
130	田んぼフル活用促進事業	国の対策に沿って秋葉区の水田農業確立のための支援を行います。	補助金の支払	米の生産数量目標達成及び水田農業経営の確立に向けた主体的な取り組みを支援しました。	1	→		産業振興課

◆新潟薬科大学、商店街などとの連携

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
131	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会(再掲)	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化の具現化に向けた、関係機関・団体等による協議を進めます。	3部会による検討及び事業実施	産学官及び地域・住民等との連携による、まちなか活性化や健康づくりなど、持続可能なまちづくりの具現化に向けた各種取り組みを行いました。	1	→		地域課
新規	特産品で地域おこし支援事業	秋葉区で生産されている農産物について、その美味しさを裏付ける栄養価や生産者側では気づかない強みを、専門的な知識と消費者側からのニーズと視点を持って、新潟薬科大学・新津さつき農協・新津鉄道商店街・関係機関らが協働で売れる商品づくりを行います。	—	—	—	プチヴェールパッケージデザインの作成支援	28年度新規	産業振興課

V 生み出し活かすまち

◆産業の振興

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
132	中小企業指導事業補助事業	新津商工会議所、小須戸商工会が行う中小企業に対する経営改善指導などの事業を支援します。	支援の継続	新津商工会議所、小須戸商工会に対する補助金交付を通じ、中小企業指導事業を支援しました。	1	→		産業振興課
133	新津商店街協同組合連合会補助事業	新津商店街協同組合連合会が行う共同事業や経済活動を支援し、商店街の活性化を図ります。	支援の継続	新津商店街協同組合連合会に対する補助金交付を通じて、商店街の活性化事業を支援しました。	1	→		産業振興課
134	工業振興条例助成金(人材育成助成金)	中小企業の工場における人材育成を支援します。	支援の継続	中小企業大学校での研修受講に対して、受講料の一部を助成しました。	1	→		産業振興課
135	中小企業パワーアップ設備投資応援補助事業	中小企業の工場における事業の拡大、高度化、継続を図る設備投資を支援します。	支援の継続	中小企業の工場における事業の拡大、高度化、継続を図る設備投資に対して、その費用の一部を助成しました。	1	—	27年度で終了	産業振興課
136	商店街活性化ステップアップ事業	商店街などが行う情報発信やイメージ統一などの取り組みに対する助成を行います。	支援の継続	商店街のアーケードやシャッターに鉄道に関するデザインを施す活動などに助成を行いました。	1	→	【28年度】 名称変更:商店街活性化ステップアップ事業(来街・消費促進)	産業振興課
137	商店街にぎわい創出事業	商店街が企画し実施するイベントを支援し、まちなかの活性化を図ります。	支援の継続	にいつ0番線商店街、新町商店街、小須戸商工会、新津駅前通り商店街などが実施したイベントに対し、補助金交付を通じて支援を行いました。	1	→	【28年度】 名称変更:商店街活性化ステップアップ事業(にぎわい促進)	産業振興課
138	商店街LED灯街路灯等維持管理事業	商店街が設置管理するLED街路灯の電気料に対する助成を行います。	支援の継続	商店街が設置管理するLED街路灯の電気料に対する助成を行いました。	1	→		産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
139	がんばるまちなか支援事業	商店街の空き店舗を活用してコミュニティや賑わい創出の施設を運営する団体を支援します。	支援の継続	空き店舗を活用した「町屋カフェわかば」の活動を支援しました。	1	→		産業振興課
140	露店市場管理事業	新津・小須戸の露店市場を開設し、良好に管理・運営を行います。	露店市場の開設	新津(1・6市)、小須戸(3・8市)の定期露店を開催しました。	1	→		産業振興課
141	産業祭開催事業	農業者、商工業者、消費者相互の交流を深め、地場産農産物のPRと米消費拡大運動を展開するため、産業祭を開催します。実施にあたり、商工団体・農業者団体などと実行委員会を組織します。	産業祭の実施	10月24日の新津会場「花夢里にいつ」で4,500人、10月17日、18日の小須戸会場「うららこすど」で7,300人の来場者がありました。	1	→		産業振興課
142	花とみどりのシンボルゾーン運営事業	農産物直売所(うららこすど)をはじめ、体験農園・市民農園やボケ公園等の管理運営を行います。	施設の管理運営 市民農園・体験農園の実施	「花とみどりのシンボルゾーン管理組合」による施設管理と自主事業を実施しました。	1	→		産業振興課
143	地場産学校給食推進事業	安全で良質なコシヒカリを学校給食に供給し、食育の普及推進・地場産米の消費拡大を図ります。 【28年度】幼稚園児・小中学生に対し、生産者との給食会食会や特産野菜等の現物展示等を通して、地場野菜に対する理解を深めます。	学校給食への地場産米供給	地場産コシヒカリを学校給食に供給し、消費拡大に努めました。	1	給食会食会の実施及び秋葉区特産野菜の展示		産業振興課
144	基盤整備促進事業 (排水路整備、農道整備)	岡田中新田地区農道及び小向水田地区農道の整備を行います。	①岡田中新田地区 農道整備 L=384m ②小向水田地区 農道整備 L=682m	岡田中新田地区、小向水田地区とも県から交付金を受け、事業主体である新津郷土地改良区に交付決定を行い整備に取り組みました。なお、当初予算額と決算額の相違は、国の交付額が減額となったことによるものです。	2	①岡田中新田地区 農道整備 L=814m ②小向水田地区 農道整備 L=710m		産業振興課
145	ほ場整備事業費負担金(経営体育成基盤整備事業)	大区画ほ場整備(満日地区及び両親地区)を行うことで、担い手への農地の集積や連担化・団地化を図り、近代的・低コストの農業経営を推進して、地域農業の発展を図ります。	①満日地区 区画整理 A=150.0ha ②両新地区 区画整理 A=223.4ha	満日地区及び両新地区ともに県営事業として整備が進み、満日地区は完了し、両新地区は概ね71%の整備に着手されました。	1	両新地区 区画整理 A=222ha		産業振興課

No.	事業名	概要	27年度			28年度		担当課
			工程・数値目標	実績	評価※	工程・数値目標 (→:H27と同様)	備考	
146	基幹水利施設管理事業(車場・水田)	水田揚水機場、車場揚水機場の運転及び維持管理を行います。	事業の実施	両揚水機場とも、新津郷土地改良区への委託により、適切な運転及び維持管理を実施しました。	1	→		産業振興課
147	農地中間管理事業	地域での話し合いをもとに、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積を支援します。	地域話し合いの支援	地域での話し合いをもとに、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積を支援しました。	1	→		産業振興課
新規	拠点商業地にぎわい創出事業	拠点商業地の活性化を図るため、広域圏からの集客を図るイベントを支援します。	—	—	—	支援の継続		産業振興課
新規	商店街環境整備事業	商店街の共同施設の設置や改修を支援します。	—	—	—	支援の継続		産業振興課
新規	地域資源活用・農商工等連携事業	地域資源の活用、あるいは農商工が連携した取り組みを通じた拠点商業地の活性化に資する事業を支援します。	—	—	—	支援の継続		産業振興課
◆バイオ技術に関する学術・研究の拠点化								
148	地域交流講座開設事業	新潟薬科大学・新潟バイオリサーチパーク(株)で進められている研究や成果を公開講座方式で広く市民、事業者などに周知するとともに、産・学・官そして地域の連携を強化し、市が推進するバイオ技術の拠点形成と地域の活性化を図ります。	年4回の公開講座の開催	「健康自立」をテーマに全4回開催し、延べ371人が受講しました。	1	—	27年度で終了	地域課
◆新潟薬科大学と連携した健康・自立の確立								
149	新潟薬科大学との連携によるまちなか活性化実行委員会(再掲) 【健康部会】	新潟薬科大学と連携した食による健康づくりに向け、機関・団体等による協議を進めます。	部会による検討及び事業実施	健康部会 4回開催 新潟薬科大学学生による地域での健康自立セミナー 8回実施	1	→		健康福祉課